

AIが起こす日本の知財革命：NTTドコモビジネス「知財文書作成エージェント」

知財業界が直面する「2025年の崖」

専門人材の不足と高齢化

熟練弁理士の引退と実務の複雑化で、現場の負担が経年を通して増大しています。

「攻め」の知財戦略への圧力

提議貢献が求められるも、膨大な定額業務が戦略立案を阻害しています。

汎用AI導入の高い壁

ハルシネーション（情報の捏造）や機密情報漏洩のリスクが実用化を妨げていました。



2025

NTTの解決策：「知財文書作成エージェント」

日本語に特化した国産LLM「tsuzumi」

特許特有の機微な日本語を正確に理解し、実務レベルの高品質な文書を作成します。



日本語に特化した国産LLM「tsuzumi」

特許特有の機微な日本語を正確に理解し、実務レベルの高品質な文書を作成します。

鉄壁のセキュリティとデータ主権

機微性の高い発明データを、開城規と国内サーバー内で安全に処理し、情報漏洩を防ぎます。



鉄壁のセキュリティとデータ主権

機微性の高い発明データを、開城規と国内サーバー内で安全に処理し、情報漏洩を防ぎます。

人間の思考を拡張する「エージェント」

完全自動化ではなく、専門士の思考や判断を支援する「人局との協働モデル」を確立します。



人間の思考を拡張する「エージェント」

完全自動化ではなく、専門士の思考や判断を支援する「人局との協働モデル」を確立します。

AIエージェント導入による工数削減効果（特許出願1件あたり）

